

稲作情報

(分けつ期の管理)

令和8年度第2号

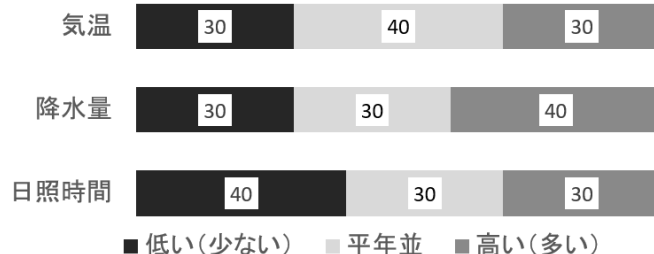
令和8年6月18日発行、福島県会津農林事務所喜多方農業普及所、J A会津よつば、喜多方市、北塩原村、西会津町

生育ステージに応じた水管理を行い、茎数を早期に確保しましょう！

1か月予報

- ・期間前半は気温がやや低くなる見込みです。
- ・向こう1ヶ月は気温は高い確率30%、降水量は多い確率40%、日照時間は少ない確率40%です。

仙台管区气象台(6月4日発表)



生育状況

作柄解析試験生育調査結果(会津地域研究所、6/2 現在)

品種名		草丈(cm)	茎数(本/㎡)	葉齢(葉)
コシヒカリ	本年	28.4	168	4.6
	平年	24.5	115	5.1
	平年比	116	146	-0.5
ひとめぼれ	本年	28.5	139	5
	平年	21.4	117	5.2
	平年比	128	119	-0.2
天のつぶ	本年	27.6	133	4.7
	平年	24.0	122	5.2
	平年比	115	109	-0.5

移植日: 5/20、栽植密度: 20.8株/㎡

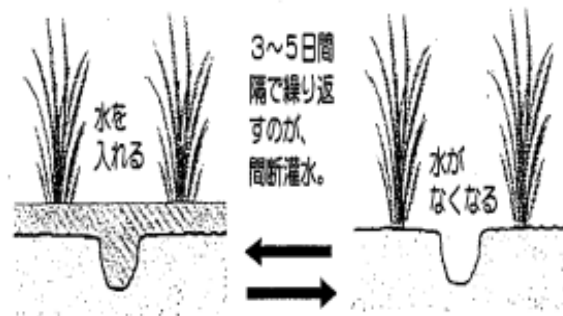


図 間断かん水のイメージ

水管理

～掛け流しは控えましょう～

(1) 分けつ期

- ・水深3cm程度の浅水管理で、分けつを促進させましょう。昼間止水、夜間かん水を行うと、水温の日較差が大きくなり分けつの発生が促進されます。
- ・ガスがわく水田は、軽く田を干して田面からガスを抜きましょう。また、表層剥離等の発生が多い場合は、暖かい日に一時落水し発生を抑えましょう。

表1 中干し開始時の茎数の目安※

株数 (株/坪)	株間 (cm)	有効茎数(本/㎡)			
		400	430	450	500
50	22.0	21	23	24	26
60	18.3	18	19	20	22
70	15.7	15	16	17	19

※有効茎数の8割となる株あたり茎数(本/株)

(2) 中干し(6月下旬～7月上旬頃)

- ・一株当たりの茎数が目標茎数の8割程度(表1参照)を確保できたら中干しを開始しましょう。
- ・中干しは、田面に1cm程の亀裂が入る程度(極端に乾いた場合は走り水を行い再び干す)まで行い、出穂30日前(幼穂ができ始まる頃)には終了し、その後は、徐々に間断かんがいに移行しましょう。

【中干しの効果】

- ・ 土壌に酸素が供給され、根が健全化し根張りが良くなる。
- ・ 窒素吸収を抑え、無駄な分けつの発生を抑える。
- ・ 田面が固まり、収穫期の落水やコンバインの作業性が向上する。

(3) 幼穂形成期(7月中旬頃)

- ・ 低温(最低気温17℃以下、又は平均気温20℃以下)が予想される場合は、幼穂形成期から減数分裂期にかけて深水管理(水深10cm程度)で幼穂を低温から保護しましょう。

雑 草 防 除

(1) 中・後期剤による残草対策

- ・ホタルイやクログワイ等の残草は、草の種類に応じて中期剤や後期剤で防除しましょう。
なお、農薬を使用する場合は、農薬のラベルや登録情報を確認し、使用基準や使用方法に従い正しく使用しましょう。

(2) 斑点米カメムシ対策

- ・6月は玄米を食害し品質低下の要因となるカメムシが繁殖する時期です。畦畔やほ場周辺の草刈りを徹底しましょう。また、草刈りは出穂の10日前までに終了しましょう。

いもち病対策

- ・会津地方における葉いもちの初発は、6月下旬頃です。また、田植え後の置き苗は葉いもちの発生源となるため土中に埋めるなど早期に処分しましょう。
- ・いもち病は、日照不足や多雨、低温などで発生しやすくなります。特に幼穂形成期が低温で経過した場合は、穂いもちが発生しやすくなるため注意してください。
- ・田植え時に箱処理剤を使用していない場合は、水面施用剤（粒剤）等で防除しましょう。

表2：葉いもち防除薬剤の例

薬剤名	使用時期
コラトップ粒剤5	葉いもち：初発10日前～初発時
	穂いもち：出穂30日前～5日前まで
フジワン粒剤	葉いもち：初発7～10日前
	穂いもち：出穂10～30日前（ただし、収穫30日前）

・県病虫害防除所では、葉いもちに感染しやすい日を判定する「BLASTAM(ブラスタム)」をHPで公開しています。

『福島県 BLASTAM』で検索！↓

倒 伏 対 策

(1) ケイ酸カリ等の施用による稲体の強化

- ・稲は、ケイ酸やカリを幼穂形成期以降に多く吸収し、根張りが良くなるとともに稈が強くなり倒れにくくなります。ケイ酸は窒素の吸収を抑制し窒素過多になるのを防ぎます。ケイ酸加里を施用する場合は、出穂40日前後に20～40kg/10aの施用が効果的です。

(2) 中干しの適切な実施

- ・中干しを実施すると土壌が固められ地耐力が向上するとともに、下位節間の伸長抑制や土壌中への酸素供給により根が健全化し、倒れにくくなります。

追 肥

- ・コシヒカリは出穂15日前頃、その他の品種が出穂20～25日前頃が追肥の適期です。
- ・幼穂長を確認して1～2mmとなった頃が幼穂形成期の目安です。また、生育状況や葉色に応じて穂肥の施用時期や量を調整しましょう。
- ・なお、基肥一発肥料を施用している場合でも葉色が低下した場合は追肥をしましょう。

表3：主要品種の出穂期（平年）

品種	出穂期
コシヒカリ	8/8
ひとめぼれ	7/31
天のつぶ	8/3

★熱中症に注意！！

暑さの感じ方は人によって異なります。こまめな休憩と水分補給をしましょう！

★本情報の内容や米づくりに関するお問い合わせや相談はこちらへどうぞ。

会津農林事務所 喜多方農業普及所

TEL 0241-24-5743

J A会津よつば 喜多方営農経済センター営農振興課

TEL 0241-21-1801

